

## 第3章

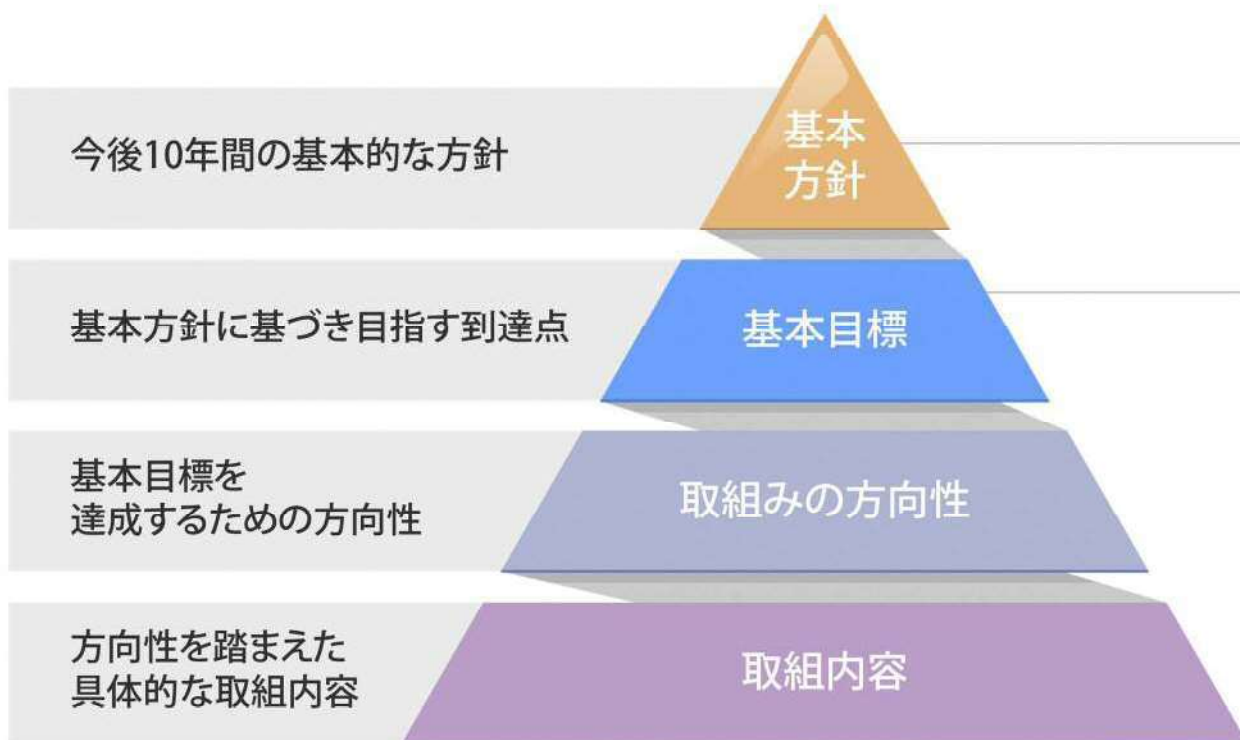
## 目指す将来像と今後の取組

- 3-1 ビジョンの体系
- 3-2 基本方針と基本目標
- 3-3 取組の方向性と取組内容

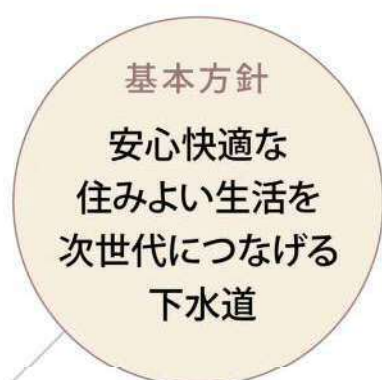
## 3-1 ビジョンの体系

将来にわたり、社会や市民生活に欠かせない下水道事業を安定的に継続して行うことで、市民が安心して快適に暮らせる生活環境を実現します。

時代とともに社会情勢が変化する中、将来にわたり良好な下水道サービスを提供し、安全で快適な市民生活や社会活動をささえていくため、芦屋市の下水道事業の現状と課題を踏まえ、「基本方針」は、第5次芦屋市総合計画が示す芦屋市の今後10年間の目指すべき姿を達成するため、以下の内容とします。



## 3-2 基本方針と基本目標



- ☑ 施設の老朽化や自然災害の脅威や厳しさを増す財政状況などの課題に直面する中、安心で快適な生活を守る下水道を次世代につなげるよう、持続可能で安定した下水道事業を推進します。



- ☑ 老朽化した施設の改築を進めることで耐震化を図るとともに、10年に1度程度の確率で降る雨を排除できるよう施設整備を進めます。



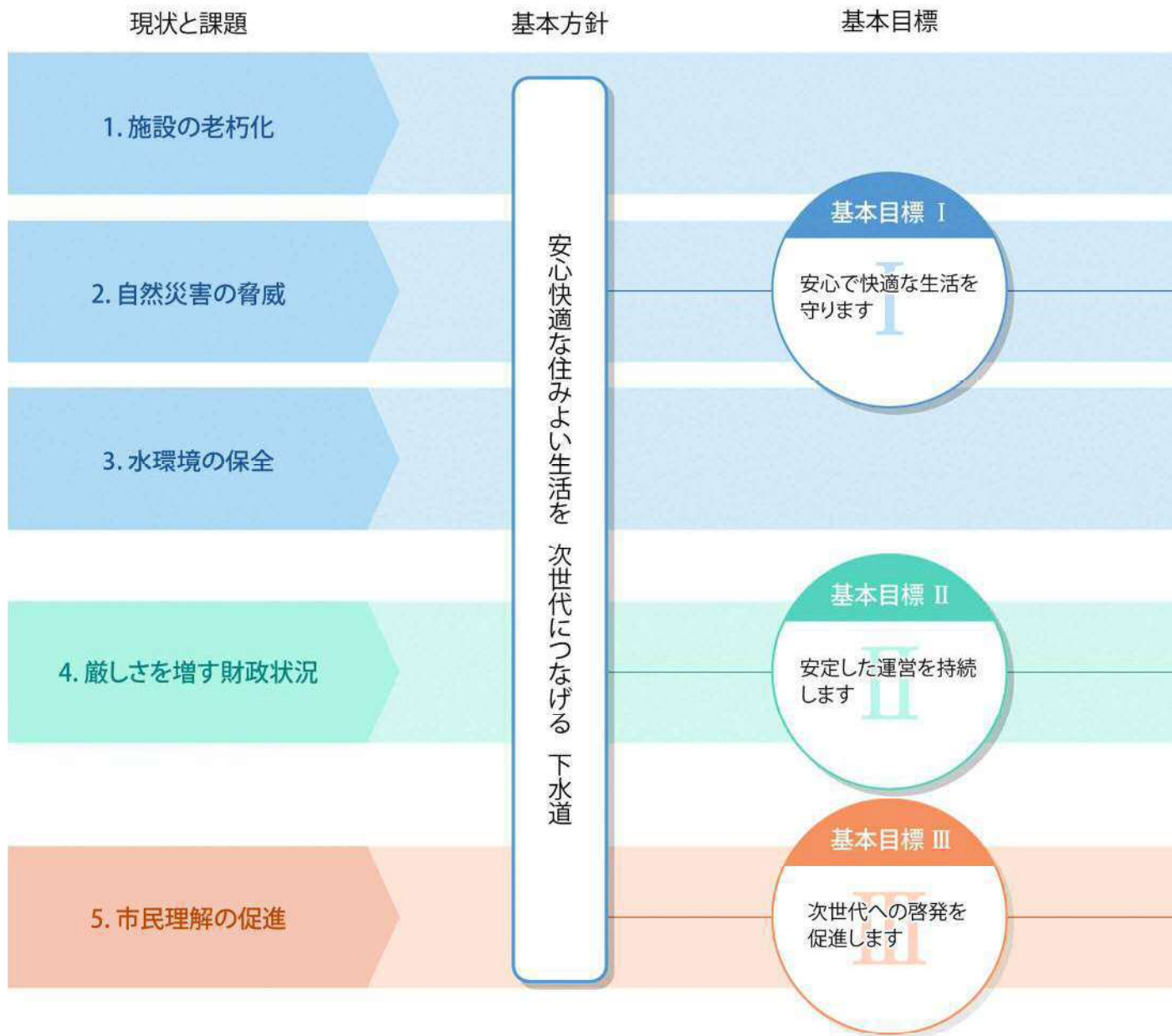
- ☑ 計画的に点検管理を行い施設の延命化を図ることでコスト縮減に努めます。



- ☑ 生活に欠かせない下水道の役割や重要性について市民のみなさまにもっと知っていただくため、効果的な啓発活動に取り組みます。

### 3-3 取組の方向性と取組内容

「基本方針」に基づいて定めた3つの「基本目標」を達成するため、5つの「取組の方向性」と9つの「取組内容」を定めます。



**重点** :10年間で特に重点的に取り組むもの

### 取組の方向性

### 取組内容

#### 1. 下水道機能の維持

- ① 下水道施設の点検・補修
- ② スtockマネジメント計画に基づく施設の改築 **重点**

#### 2. 災害に強い下水道の構築

- ① 大雨対策 **重点**
- ② 地震対策 **重点**

#### 3. 水質保全

- ① 下水処理の高度化 **重点**
- ② 分流化

#### 4. 安定した事業経営

- ① コスト縮減 **重点**
- ② 財源の確保

#### 5. 効果的な情報発信

- ① 様々な媒体(機会)を用いた啓発活動 **重点**

### 3-3-1 取組の方向性

基本目標

I

安心で快適な生活を守ります

#### 取組の方向性 1. 下水道機能の維持

##### 課題

下水道施設の機能を将来にわたり維持していくため、適切な維持管理を実施する必要があります。

管路や処理施設の機械・電気設備などの改築を確実に進める必要があります。

処理施設の土木・建築構造物の改築を計画的に進める必要があります。

##### 取組の方向性

###### ①下水道施設の点検・補修

下水道施設の計画的な点検や調査、修繕など適切な維持管理を引き続き実施します。

###### ②ストックマネジメント計画に基づく施設の改築

改築の必要性や時期などを総合的に判断しながら、計画的に下水道施設の改築を進めます。

#### 取組の方向性 2. 災害に強い下水道の構築

##### 課題

10年に1度程度の確率で降る雨を排除するため、雨水貯留施設の整備を進める必要があります。浸水被害を軽減するため、雨水流出抑制の取組を支援するための情報提供を継続する必要があります。

地震対策のため、機能の重要度などを考慮し、管路・処理施設の耐震化を計画的に進める必要があります。

下水道BCPの見直しや災害対応訓練の実施など、ソフト対策を強化する必要があります。

##### 取組の方向性

###### ①大雨対策

ハード対策とソフト対策を組み合わせた効率的・効果的な雨水対策を進めます。

###### ②地震対策

ハード対策とソフト対策を組み合わせた効率的・効果的な地震対策を進めます。

### 取組の方向性 3. 水質保全

課題
良好な水環境の保全に貢献するため、下水処理場において処理水質の向上や安定が必要です。
合流改善対策が完了していない処理区において対策を進める必要があります。

取組の方向性
<b>①下水処理の高度化</b> 下水処理場における下水の処理方法の高度化を進めるとともに、運転管理の工夫を引き続き実施します。
<b>②分流化</b> 合流改善対策が完了していない処理区において、効率的・効果的な対策を進めます。

基本目標

II

安定した運営を持続します

### 取組の方向性 4. 安定した事業経営

課題
下水道事業の財政状況を健全に維持するため、計画的な維持管理及び改築の実施や、業務の効率化によるコストの縮減が求められています。
今後増加が見込まれる事業を実施するために必要な財源の確保に取り組む必要があります。

取組の方向性
<b>①コストの縮減</b> 下水道施設の計画的な管理や業務効率化の検討を行い、コストの縮減を引き続き実施します。
<b>②財源確保</b> さらなるコスト縮減の実施や必要な財源の確保に取り組みます。

基本目標

III

次世代への啓発を促進します

### 取組の方向性 5. 効果的な情報発信

課題
下水道に対する市民の関心を高め、役割や重要性に対する理解を促進するため、様々な世代に応じて、より効果的な情報発信に取り組む必要があります。

取組の方向性
<b>①様々な媒体（機会）を用いた啓発活動</b> 下水道に対する関心や、下水道を正しく使う意識、大雨に対する備えの意識が高まる効果的な情報発信を実施します。